

2024-25 年度 第2650地区スローガン
持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動
Make Rotary Sustainable! Learn together Act together

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

会 長	池 木 啓 仁
副 会 長	中 井 謙 之
幹 事	丸 野 正 徳
会報・資料委員長	杉 村 喜 之

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール
事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第39回(通算3038回)2025年(令和7年)6月10日号

本日の例会(6月10日)

委員長活動報告(1)

次回の例会(6月17日)

委員長活動報告(2)

6月3日の例会報告 会長の時間

いよいよ6月です。本年度の最終月になりました。少し気分が軽くなったように感じております。去年の脇本会長も同じお気持ちだったのだらうと思います。さて、皆さんが企業経営におきまして、「あなたは臆病だね」と言われたとしたらどうでしょう。誰だって不愉快に感じると思います。そこで本日ご紹介いたしますのは、実はそうした「臆病」こそが武器になるというお話です。

これは、世界最大のタイヤメーカー、ブリジストンの元CEOとして14万人を率いた荒川詔四氏の著書、『臆病な経営者こそ「最強」である』の一節です。「リーマンショックや東日本大震災を乗り越えて成長し続けられたのは、熾烈な競争の中で、おびえた動物のように、著者は臆病な目線で、常に感覚を研ぎ澄ませ続けられたからこそ、的確な対策を講じることができた」と述べておられます。

すなわち、1つ、「数字を追う者は道を間違える」、2つ、「利益は絞り出すものではなく、クリエイティブに創造するものである」、3つ、「曲がった木を柱に使うてはならない」、4つ、「すぐれた計画は組織を自由にする」。この4つの原理原則は、荒川氏が長い経験の中から判断基準として可視化、言語化されたものです。「若い頃から無数に積み上げられてきた経験や情報などが一緒くたになって、魂のようなものとして存在している」と書かれています。つまり、ビジネスにおいて体が危険を察したとき、原理原則の魂のようなものが軸となって、どのように行動すればよいのかを教えてくれるという感覚だそうです。

そして、もう一つ大切なことは、そういった判断に基づく対策に対して、従業員が我が事のように受け止めてくれなければ何も生まれてこないということです。経営者は立派なことを考えるだけでは駄目で、社内に浸透させ、組織にうねりを生み出さなければなりません。そのために、最も大切なことは「謙虚さ」

というこの3文字であり、そこから信頼が生まれ、うねりが起きると発信されています。

著者はまた、「自分はでこぼこの人間である」と書かれています。自身の知識など限られています。なるほど、だから人に助けってもらうことで、共に前向きな仕事ができるのです。この姿勢を身につけることがとても大切なんだと感じた次第です。

幹事報告

◎第12回新旧合同定例理事会のご報告

1. 本年度会計の進捗状況について 承認
 2. 次年度年間行事予定案について 承認
 3. 次年度IMを移動例会とすることについて 承認
- ◎次週6月10日から委員長活動報告を行いますので、委員長の方はよろしくお願いいたします。

次年度幹事報告

本日午後3時30分よりヴェルデ辻甚においてクラブアッセンブリーを行います。ご参加の方はよろしくお願いいたします。

ゲスト

守家由訓様(観世流大鼓方 卓話講師)

山本博通様(観世流シテ方 卓話講師)

誕生日祝

吉川雅章会員(6月 3日) 吉田 暁会員(6月 3日)

結婚記念日祝

林 輝一会員(6月 7日)

創業記念日祝

木下庄司会員(6月 3日) 一ノ坪英二会員(6月 4日)

委員会報告及びその他報告

◎趣味の会委員会 垣本喜己委員長
6月7日(土)秋津原ゴルフクラブでローラ会のゴルフコンペを開催いたします。

◎雑誌・IT委員会 中井俊之委員長
『ロータリーの友』のご紹介をします。7ページからロータリーソングの起源という記事があります。14ページからは、2025年度審議会のリポートが掲載されています。28ページに大阪万博の記事がございます。36ページにはロータリーアットワークの中で、奈良大宮RCの防災訓練での意思行動という記事がございます。

◎ローターアクト委員会 川中教正委員長
6月24日(火)午後7時からローターアクトクラブの今年度最終例会を開催いたします。場所はヴェルデ辻甚、登録費が1万円となっております。6月17日まで申込みが可能です。ぜひローターアクトのメンバーと交流を深めてください。

◎次年度健康管理委員会 堀川巳清委員長
恒例の会員・家族様の健康診断を行います。6月24日に葛城メディカルセンターの職員がいらっしゃ

4つのテスト〔言行はこれに照らしてから〕

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

いますので、ご予約をお願いいたします。6月24日にご欠席の方は、葛城メディカルセンターで7月4日までにご予約くださいとのことです。

ニコニコ箱

- ・本日は、能楽師、山本博通様並びに守家由訓様にお越しいただいております。後ほど卓話にて能楽の楽しみ方など、ぜひお聞かせいただければと思います。池木啓仁会員
- ・守家由訓様、山本博通様、ようこそ当クラブへ。卓話楽しみにしております。丸野正徳会員
- ・本日久しぶりに例会参加させていただきます。大阪東RC 山本博通様
- ・久しぶりに山本先生にお目にかかり、また、本日はご苦労さまです。村島靖一郎会員
- ・守家先生、山本先生をお迎えして！ 楽しみにしています。岡本吉行会員
- ・山本博通先生をお迎えして。中井隆男会員 甲村侑男会員
- ・山本先生の元気なお姿を拝見して。黒松 健会員
- ・守家先生、山本先生をお迎えして。辻 脩会員 安田志郎会員
- ・能楽のお話、楽しみにしております。酒本將稔会員
- ・守家先生、山本先生、卓話よろしくお願ひいたします。清水良彦会員
- ・誕生日祝を頂いて。吉田 暁会員
- ・誕生日祝を頂いて。長嶋茂雄さんの冥福をお祈りいたします。吉川雅章会員

卓話「能楽の音楽について」
観世流大鼓方 守家由訓 様

能楽にはいろいろと流儀がありますが、私は観世流の大鼓方です。能楽では、囃子方が4人並んでいます。この4人が能の音楽の器楽担当者となります。もう一人、歌う方がいらっしやいまして、それが五人囃子と呼ばれ、ひな人形が同じ並び方になっています。京都には、雅楽の五人囃子のひな人形もありますけれども、大体は能楽の五人囃子が飾ってあります。

囃子方には大鼓、太鼓、小鼓、笛がございますが、大鼓の音はすごく響き渡ってきます。特に、能楽堂という形で、建物の中に舞台が入ってしまいましたので、その影響もあって、より大鼓の音が響くようになります。この大鼓や笛の音は、学者の方の研究によりますと、耳というよりは直接、脳に入ってくるような音なんだそうです。アルファ波と呼ばれる脳波を出し、大変気持ちをよくさせてくれます。奈良にも大阪にも能楽堂はございますので、ぜひご覧になってください。

囃子方という言い方には、シテの謡を囃すという意味合いが大前提にあります。もちろんアドリブではなく、謡に対してどう打つべきかということは伝統的に継承されております。その上で、自分の個性を見出していくということになります。

大鼓の稽古では、もちろん大鼓の手を覚えなくて

はなりません。ただ、まずは謡を覚えるという稽古から入ります。そして、師匠の後ろに座り演奏を聞いていなさい、また実際の舞台で師匠が演奏しているのを聞いていなさいという稽古のされ方をします。一々懇切丁寧に教えていただくということはなかなかなく、声の出し方や打ち方というのは、理路整然と緻密に系統立てて教本に書かれているということはありません。自分で回り道をして、自分のやりようを会得していくということになります。

偉い先生は「半分しか教えないほうがいい」とおっしゃいます。あとの半分は自分で考えろということのようです。ただ、現在は少子化が進んでおり、能楽の世界もまた同じで、そのような中では、懇切丁寧に十のうち八も九も教えてしまうようになってきております。私の経験に照らし合わせても、このことを危惧しておりますが、今も師匠から教えていただいたことを思い出してお伝えしております。

次に、大鼓の話をさせていただきます。大鼓は大きいから大鼓と申しまして、肩に乗せて打っているのを小鼓と言います。2枚の皮を調緒という、麻でできた紐で組み立てております。携帯して持ち歩くときには、皮の部分と胴の部分は分離させておまして、楽屋入りをしてから組み上げます。これは縛ったままだと皮にダメージが入りやすいからです。

大鼓の場合は、皮を1時間から1時間半程、火にあぶって乾燥させるという作業もしております。それは、近年、小鼓に対してすごく音を高く響かせるというふうに変化してきたことも影響しています。昔の江戸時代などではもう少し低い音だったのではないかなと思っております。

大鼓の皮は馬の皮でできています。胴は桜の木をくり抜いた砂時計型をしております。打つほうの表の皮を打ちますと、キュッとしぼんだところを音が通り、裏の皮と反射しながら音が裏側に抜けていきます。この仕組みは、マイクロホンやスピーカーのない昔に、音が遠くへ聞こえるように工夫されたものです。

大鼓の原型は朝鮮半島を経て伝わった北方騎馬民族系の楽器だと言われています。今も韓国にはこれよりもうちちょっと大きい形の楽器がございます。それに対して太鼓は丸いケヤキの胴に牛の皮で締め上げたもので、これは南方系の農耕民族の楽器だと言われている。

演奏 観世流大鼓方 守家由訓 様
観世流シテ方 山本博通 様



出席報告	会員 総数	出席 義務 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
6月3日	87	55	51	4	0	32	24	0	94.94%
5月27日	87	56	49	7	1	31	22	1	92.40%
5月20日	87	56	44	12	7	31	22	1	93.67%

※食品ロスの削減に努めましょう。(5月27日の弁当残数は3個)